

2010年2月8日

株式会社ワークスアプリケーションズ

十八銀行、新人事システムに「COMPANY®」シリーズを採用 ～人事管理の強化およびワークフローシステム構築により、 さらなる人事業務の BPR を目指す～

株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役最高経営責任者：牧野正幸、以下 ワークス）は、株式会社十八銀行（本店：長崎県長崎市、代表執行役頭取：宮脇雅俊）より、新人事システムとして「COMPANY® 人事・給与」「COMPANY® Web Service」「COMPANY® 就労・プロジェクト管理」の3製品を受注いたしましたので、お知らせいたします。

●豊富な導入実績と将来的な変化への柔軟な対応力を評価し、「COMPANY®」を採用

長崎県を中心に約100店舗を有する十八銀行では、銀行業務をはじめ、子会社でリース業務やクレジットカード業務などを展開しています。同行では、雇用形態の多様化に伴う人事管理の強化に加え、子会社を含めたグループ全体での管理の一元化を検討していました。このたび、金融機関を含む大手企業への豊富な導入実績と将来的な変化にも追加コストを必要としない柔軟性、また、多様な就労管理にも対応でき、Webシステムによる業務改革を統合的に図れるシステムであることが評価され、「COMPANY®」による新人事システムの構築が決定いたしました。

●新人事システム導入により、労務管理の強化と人事業務の効率化を促進

十八銀行では、様々な雇用・勤務形態に標準機能で対応できる「COMPANY®」の特長を活かし、正職員をはじめ、パート職員や派遣職員など異なる条件で勤務する従業員の人事情報や勤務情報の一元管理を図ります。これにより各部門の管理担当者が人材育成や人材配置などを行なう際のマネジメントツールとして、行内における人事情報の戦略的な活用を促進します。また、Webを利用したシステムに完全移行することで、管理担当部署や利用する行員の業務効率化および行内全体のペーパーレス化を促進させ、機密性の高い環境の構築が可能となります。さらに、データベースが一元化されることで、法改正をはじめ組織変更や行内制度の変更など、システム改変が必要になった際も追加コストの必要なく運用の負荷が大幅に削減されます。

なお、本プロジェクトでは、十八銀行とその情報システム子会社である十八ソフトウェア株式会社、ワークスの3社で連携を図って導入を進めてまいります。